

全日本民医連 糖尿病シンポジウム 大阪からの便り♪

発行日
2023年9月19日
No.2

全日本民医連
糖尿病シンポジウム
事務局 発行

★耳原総合病院の取り組み紹介★

今回は、耳原総合病院より主な取り組みについてお届けしたいと思います。

糖尿病は生活習慣そのものを見直し実践することが治療の基本です。特に2型糖尿病の場合、食事療法と運動療法が最も有効かつ安全な治療法と考えています。そのために、当院でも様々な角度から患者様と糖尿病という疾患にアプローチができるようなシステムを構築していました。ですが、コロナ禍を通じて多くの病院や診療所が経験したように、当院でも治療システムの大幅な変容を迫られました。その中でも、継続できている取り組みを中心にご紹介します。

治療の場としては、入院は耳原総合病院で、外来はみみはら高砂クリニックと近隣のクリニックです。耳原総合病院と高砂クリニックでは生活習慣そのものにアプローチするために、栄養士、運動療法士が常駐し、クリニックと病院でシステムをつなぎながら血糖のコントロールの安定と維持に努めています。入院では、食事療法を施行し生活のベースを作ると同時に、正しい知識を得て治療へのモチベーションを高めてもらうために医師・コメディカルがレクチャーを施行しています。運動療法では運動療法士と一緒にストレッチ・筋トレを施行しながら、自宅でも継続できるような個人にあったメニューを組みつつ体質改善を図ります。外来では、糖尿病の合併症である動脈硬化性病変の管理、悪性腫瘍などの早期発見ができるように、誕生月を起点にして頸動脈エコー・心エコー・胃カメラ・腹部エコーなどの検査を組んでいます。

また、他科の専門医との連携も密に図っており、特に腎臓内科とは合併症の段階に応じて併診やシフトチェンジのタイミングを相談しています。最近の取り組みとしては、産科と連携して母性内科を立ち上げ、糖尿病合併妊娠や妊娠糖尿病など妊婦の内科管理にも取り組み始めています。

さらに、地域のクリニックとの連携も大切にしており、患者様や紹介元の先生と相談しながら治療目的に合わせて、様々な治療期間（短期・中期・長期）、治療の場（入院・外来など問わず）を用いて地域と共に包括的なケアを目指しています。

コロナ禍までは、入院では栄養士と実際に調理実習をしたり、運動療法士と近くの公園まで散歩したり（春は桜・秋は紅葉を楽しみながら）するプログラムを組んでました。外来では、健康サポートセンターとして問診ブースやフットケアブースを設けて、患者様の詳しい生活習慣を聞き取り、診察前に足の状態をチェックしたりしていました。これらは現在出来ない状況です。今後、コロナ禍が終息（収束）した後に、再び包括的なケアが実施できるようなシステムを構築していくことを目標にしています。シンポジウムで様々な経験を共有し合えることを楽しみにしています。

耳原総合病院 岩崎桂子

食い倒れん♪ウ君



★メンバー紹介★

第2回目は
耳原総合病院、
耳原鳳クリニックの
医師メンバーです。



【お問い合わせ・事務局】

第37回 全日本民医連糖尿病シンポジウム事務局

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-5-22

Tel 06 (6472) 1141 Fax 06 (6474) 7685

西淀病院 医局事務課 担当：松岡・梅木・吉倉

Mail : kensyu@yodokyo.or.jp

